

ふりがな 氏名	すがわら あつし 菅原 淳史	都道府県	宮城県	
所属/肩書	宮城県多賀城高等学校 教諭			
私のESD活動	東日本大震災以降、当時学校が被災した英語科の教員として、国際理解教育や防災教育に力を入れてきた			
ESD活動を表すキーワード	国際理解	防災	自然科学	

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私がこれまでに行った活動は大きく分けて以下の3点である。

・1つ目は平和教育である。地雷についての調べ学習を行った。そして発表、展示した。日本の高校生にとって縁遠い存在であることを調べることによって、自分自身のこととして考え平和について深く考えることができるようになったと思う。

・2つ目は国際理解である。東日本大震災以降、当時学校が被災した英語科の教員として、被災した現状を海外にも伝えようと生徒たちを積極的に海外へ派遣してきた。海外派遣に際し、生徒たちが経験した震災について当時の被災した様子とその後の復興の様子についてどのように伝えたら良いのか取り組んできた。また、被災経験だけを伝えるのではなく、日本人の高校生が今どのようなことを考えているのか日本の文化や価値観も踏まえて伝えるように指導した。海外での経験は生徒たちにとって有意義なものになった。生徒たち自身がより積極的に自分自身を表現し、今後被災を経験した日本人としてどう情報を発信していくべきなのか考えるようになったのを強く感じた。

・3つ目は防災である。現在転勤してきた学校では生徒ひとりひとりに登校時や下校時にどのような危険箇所があるのか防災マップを作成させ、災害時にどう行動すべきなのか考えさせた。マップを作成している時に自分の登校している場所に多数危険箇所があった生徒たちは災害時の通り方など真剣に取り組んだ。生徒たちの被災した記憶も段々と薄れていく中で、災害時のことを再確認することで防災に対する意識が高まったと考える。

以上の平和教育、国際理解、防災がこれまでに私が行って来た活動である。

・宮城県多賀城高等学校 www.tagajo-hs.myswan.ne.jp/

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

今回のコンファレンスに参加し得た情報や学びをもとに今後私の勤務校で行われていく防災教育、自然科学教育、国際理解教育についての一助となるだけでなく、同僚教員はもとより、生徒たちに還元していくことのできるものと考えている。現在、勤務校ではユネスコ ASP へ参加申請している。今回の活動へ参加し、多様な考え方や情報を持ち帰ることによって本校が ASP に貢献する活動を行う上で有意義なものになると考えている。

また、個人としては今後の教育活動において、海外の方を招いた出前授業や、異文化交流、異文化理解、生徒たちによる被災体験の資料作りや海外の方の震災地案内などに生かさせていくものであると考える。特に、現代の子どもたちはグループワークやプレゼンテーション能力が重要となる中、このような能力を養っていく活動を展開したい。